リモート インタラクティブ ドック

DS-A1XP

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に裏表紙に記載の保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⦸記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにACアダプターを抜く

ACアダプターをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災･感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない

ACアダプターに関するご注意

■ ACアダプターを傷つけない

禁止

- ACアダプターの上に重い物をのせたり、ACアダプターが機器などの下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

ACアダプターが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ ACアダプターは定期的に掃除する

必ずする

ACアダプターにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。ACアダプターを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

■ ACアダプターに布や布団をかぶせない

禁止

熱がこもり火災の原因となります。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

ぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下して、けがや故障の原因となることがあります。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

ACアダプターに関するご注意

■ 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災･感電の原因となります。

■ ACアダプターのコードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
ACアダプター本体を持って抜いてください。

■ 長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜く

ACアダプターをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプターは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ お手入れの際はACアダプターを抜く

ACアダプターをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

特長

■ **iPodに蓄積した音声ファイルをオンキヨー製オーディオシステムとRI接続して良い音質でお楽しみいただけます**
■ **オンキヨー製オーディオシステムに付属のリモコンで簡単に操作できます**[*1]
■ **第1/第2世代のiPod nano、iPod photo、iPod mini、第5/第4世代のiPodに対応**
■ **音楽を楽しみながらiPodに充電できます**

*1 RI 対応のオンキヨー製アンプや AV センターでリモコン操作することができます。

※DS-A1XPに関する最新情報は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/

接続できるiPodモデル

●第5世代 iPod
（iPod with video）
●iPod photo
（カラーディスプレイ搭載 iPod）
●第4世代 iPod

●第2世代 iPod nano
●第1世代 iPod nano

●iPod mini

iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

ご注意

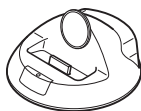
● **第3世代iPodには対応していません。**
● ご使用になる前に、必ずご使用のiPodを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデーターは、Apple社のホームページにて入手してください。

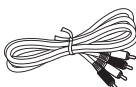
●取扱説明書に記載の操作は、2008年4月現在のiPodを基準にしています。今後のiPodのファームウェアのバージョンアップ等により、操作できる機能の範囲が変更になる場合もあります。
●本機に付属のACアダプターは、DS-A1XP専用です。他の機器に接続して使うことはおやめください。また、DS-A1XPをご使用の際、他機のACアダプターをご使用になるとDS-A1XPの故障の原因となりますので必ず付属のACアダプターをお使いください。

本体と付属品

ご使用になる前に、下記のものがそろっていることをお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。

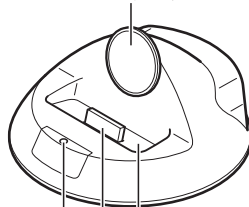
● DS-A1XP(本体)(1)

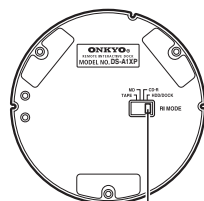
● ACアダプター1.4m(1)

● オーディオ 用
ピンコード1.5m(1)

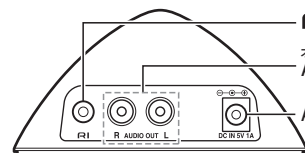
● RIケーブル1.8m(1)

● 取扱説明書〈保証書付〉(本書)(1)
● オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内(1)
● ユーザー登録カード(1)
＊Apple iPodは含まれません。

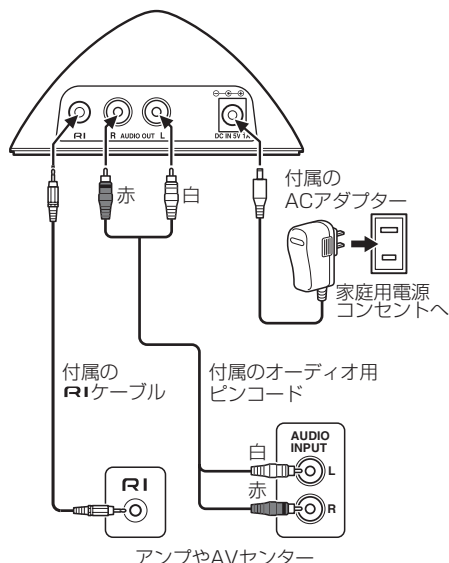
カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

各部の名称

上面

iPodアダプター
iPodスロット
iPodコネクタ
パワーインジケーター

底面

RI MODE（モード）切換スイッチ
お買い上げ時はHDD/DOCKです。
他のモードで使用するときはこのスイッチを切り換えます。

裏面

接続をする

ここでは大きく、システム機器と単品アンプやAVセンター等との接続に分けて記載します。
RIドックとの接続方法を取扱説明書に記載している製品は、それにしたがって接続を行ってください。RIドックとの接続方法を記載していない製品の場合は、下記をご覧になり、下の図のように接続してください。

システム機器との接続（FRシリーズ、BASE-Vシリーズなど）

1. DS-A1XPの音声出力端子（AUDIO OUT L/R）とシステム機器のアンプ部の使用していない音声入力端子（TAPE、MD、CD-R、HDDまたはDOCKのIN L/R）を接続する

2. DS-A1XPのRI端子とアンプ部のRI端子を接続する

3. DS-A1XP底面のRI MODE切換スイッチを手順**1**で接続した端子に合わせてHDD/DOCK、TAPE、MDまたはCD-Rにする

- 入力切換を「DOCK」と「TAPE」などで共用している機器の場合は、その機器に付属の取扱説明書をご覧の上、正しく入力の設定をしてください。

4. DS-A1XPのDC INにACアダプターを接続し、アダプターのプラグを家庭用電源コンセントに接続する

5. iPodをDS-A1XPに乗せる

- このとき、パワーインジケーターが一度点灯したあと消えます。iPodへの充電が行われます。また、iPodからの音声や映像がDS-A1XPの出力端子から出力できる状態になります。

6. システム機器に付属しているリモコンで操作する

- リモコンに設けられた再生機器用（TAPE/MD/CDR/HDD/DOCK）のボタンで再生、停止等の操作をします。

DS-A1XPの動作中は、パワーインジケーターが点灯します。

アンプやAVセンター等との接続

1. DS-A1XPの音声出力端子（AUDIO OUT L/R）とアンプやAVセンターのRIドックに対応している入力端子やTAPE、MD、CD-Rなどの入力端子（L/R）を接続する

- VIDEO端子がHDDやDOCKに対応している機種もあります。
- HDDとDOCKは同義として使用してください。

2. DS-A1XPのRI端子とアンプやAVセンターのRI端子を接続する

3. アンプやAVセンターによって、端子の入力表示を切り換えて使用するときは、表示をHDDやDOCK、TAPE、MDまたはCD-Rに切り換える

- 入力表示の切り換え方法は各アンプやAVセンターの取扱説明書をご覧ください。

4. DS-A1XP底面のRI MODE切換スイッチを手順**1**、**3**に合わせてHDD/DOCK、TAPE、MDまたはCD-Rにする。

例1）TAPE/MD端子に接続して表示名称を「MD」にした場合は、RI MODE切換スイッチも「MD」にします。

例2）DOCK/CDR端子に接続して表示名称を「DOCK」にした場合は、RI MODE切換スイッチを「HDD/DOCK」にします。

5. DS-A1XPのDC INにACアダプターを接続し、アダプターのプラグを家庭用電源コンセントに接続する

6. iPodをDS-A1XPに乗せる

- このとき、パワーインジケーターが一度点灯したあと消えます。iPodへの充電が行われます。また、iPodからの音声や映像がDS-A1XPの出力端子から出力できる状態になります。

7. アンプやAVセンターに付属しているリモコンのモードボタンを手順**3**と同じモードにしたあと、再生や停止等の操作をする

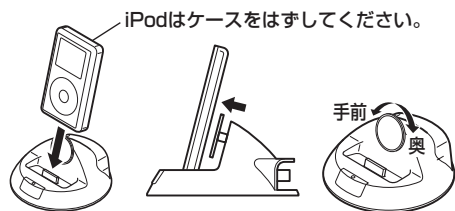
- リモコンによってモードボタンがない場合は、該当するボタンで操作します。

DS-A1XPの動作中は、パワーインジケーターが点灯します。

ACアダプターが電源コンセントに接続されていない場合は、iPodの►ボタンを押してもシステム機器から音声と映像は出力されません。また、リモコン操作も受け付けません。

操作する前に

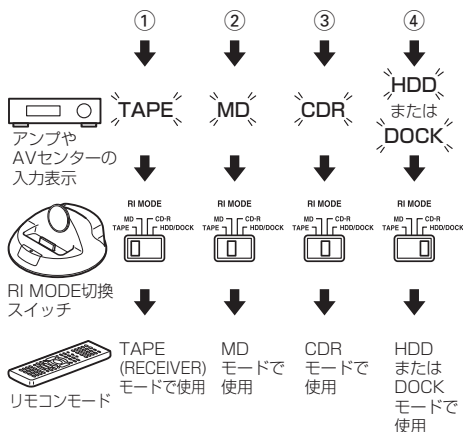
iPodをDS-A1XPに設置する

iPodのDockコネクタをDS-A1XPのiPodコネクタにしっかり差し込みます。iPodによっては、iPod背面とDS-A1XPとの間にすき間ができますので、iPodアダプターを回して調節し、すき間をなくしてください。左に回すとiPodアダプターを手前に、右に回すと奥に調節することができます。

ご注意

- iPodをケースなどに入れている場合は、完全に接続できず音が出ない、リモコンで操作ができないなどの問題が起きることがあります。iPodはケースをはずしてから本機に接続してください。
- iPodを抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部を傷つけないようにしてください。また、使用中にiPodを前に倒したりすると、コネクタ部を破損する原因となりますので、ご注意ください。
- FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。

クイックチェック

アンプやAVセンターの入力とRI MODE切換スイッチ、リモコンモードを合わせます。

①リモコンモードをTAPE（AMP/RECEIVER）にして操作する場合
②リモコンモードをMDにして操作する場合
③リモコンモードをCDRにして操作する場合
④リモコンモードをHDDまたはDOCKにして操作する場合

システム操作

基本動作

アンプやAVセンターに付属のリモコンを使って、iPodの再生/一時停止/次へ/前へなどの基本的な操作を行うことができます。

また、オンキヨー製品によって、下記のようなシステム動作ができます。

- **システムオン動作**
  アンプやAVセンターの電源をオンにするとDS-A1XPおよびiPodの電源がオンになります。アンプやAVセンターの場合、電源オン中にリモコンのSTANDBY/ONボタンを押すとシステムオン動作するものもあります。
- **システムオフ動作**
  アンプやAVセンターの電源オフに連動してDS-A1XPおよびiPodの電源をスタンバイ状態にします。
- **タイマーオフ動作**
  アンプやAVセンターのスリープタイマーが働いてシステムの電源がオフになったとき、連動してDS-A1XPおよびiPodをスタンバイ状態にします。
- **タイマープレイ動作**
  アンプやAVセンターのタイマープレイにより、DS-A1XPおよびiPodの電源が自動的に入り、iPodの再生が始まります。
- **オートパワーオン機能**
  アンプやAVセンターがスタンバイ状態のときにリモコンの再生ボタン（▶）を押すと、アンプやAVセンターの電源が自動的に入り、DS-A1XPを接続した入力に切り換わったあと、iPodの再生が始まります。
- **ダイレクトチェンジ動作**
  アンプやAVセンターが他の入力のときリモコンでiPodを再生すると、DS-A1XPを接続した入力に自動的に切り換わり、iPodの再生をします。
- **ディマー連動動作**
  アンプやAVセンターのディマー切り換えに応じて、DS-A1XPのパワーインジケーターの明るさが切り換わります。
- **その他のリモコン操作**
  アンプやAVセンターに付属のリモコンで基本動作以外のiPod操作をすることができます。
  詳細は7ページをご覧ください。

使用上のご注意
音量はアンプやAVセンター側で調整してください。iPod本体にイヤホンを接続してお楽しみいただくときは、音量が大きくなりすぎていないかiPod本体で確認してからご使用ください。

操作と可能な動作

リモコンのボタンと操作について

次のリモコンボタンをご使用いただくことができます。
リモコンによって若干ボタンの種類が異なることや、ボタンがない場合がありますのでご了承ください。
●電源スタンバイ / オンと再生以外は、DS-A1XP が電源オンのときに操作できます。

iPodの機能	リモコンボタンの名称				動　作
	TAPE	MD	CD-R	HDD/DOCK	
電源スタンバイ/オン	STANDBY/ON			—	DS-A1XPがスタンバイ状態のときは、DS-A1XPの電源をオンにし、iPodも電源オンにします。
再生	PLAY▶	PLAY			DS-A1XPの電源をオンにし、iPodの再生を開始します。
一時停止	PAUSE/STOP			PAUSE	再生を一時停止します。
次へ	FF/▶▶/▶▶I	▶▶I			再生している曲の次の曲を再生します。
前へ	FR/◀◀/I◀◀	I◀◀			再生している曲の前の曲を再生します。
早送り	—	FF/▶▶			再生を早送りします。
早戻し(巻き戻し)	—	FR/◀◀			再生を早戻し(巻き戻し)します。

＊iPod photoの画像送り/戻しは、iPod photo本体で操作してください。

こんなこともできます！

以下は、一部の当社対応機種との組み合わせでご利用いただける機能です。

iPodの機能	リモコンボタンの名称				動　作
	TAPE	MD	CD-R	HDD/DOCK	
シャッフル	DOLBY NR MODE	RANDOM/PLAYMODE/SHUFFLE			iPod のシャッフルモード（曲→アルバム→オフ）を切り換えます。
リピート	REVERSE MODE	REPEAT			iPod のリピートモード（1 曲→全曲→オフ）を切り換えます。
プレイリストアップ iPodにプレイリストがある場合に働きます。	◀PLAY ⇩ FF/▶▶*	ENTER/PROGRAM/MEMORY ⇩ FF/▶▶		PLAYLIST UP	次のプレイリストを選びます。HDD モード以外では、左記上段の該当するボタンでプレイリストモードに切り換えてから使用します。プレイリストモードにすると、パワーオンインジケーターが 5 秒間点滅するので、その間に FF(▶▶)ボタンを押してください。
プレイリストダウン iPodにプレイリストがある場合に働きます。	◀PLAY ⇩ FR/◀◀*	ENTER/PROGRAM/MEMORY ⇩ FR/◀◀		PLAYLIST DOWN	前のプレイリストに戻ります。HDD モード以外では、左記上段の該当するボタンでプレイリストモードに切り換えてから使用します。プレイリストモードにすると、パワーオンインジケーターが 5 秒間点滅するので、その間に FR(◀◀)ボタンを押してください。
アルバムアップ iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合に働きます。	◀PLAY ⇩ ▶▶I	ENTER/PROGRAM/MEMORY ⇩ ▶▶I		ALBUM UP	次のアルバムを選びます。HDD モード以外では、左記上段の該当するボタンでアルバムモードに切り換えてから使用します。アルバムモードにすると、パワーオンインジケーターが 5 秒間点滅するので、その間に FF(▶▶I)ボタンを押してください。
アルバムダウン iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合に働きます。	◀PLAY ⇩ I◀◀	ENTER/PROGRAM/MEMORY ⇩ I◀◀		ALBUM DOWN	前のアルバムを選びます。HDD モード以外では、左記上段の該当するボタンでアルバムモードに切り換えてから使用します。アルバムモードにすると、パワーオンインジケーターが 5 秒間点滅するので、その間に FR(I◀◀)ボタンを押してください。
バックライト	REC	DISPLAY/SCROLL			iPod のバックライトを 30 秒間点灯させます。

＊機種によっては、リモコンにボタンがあっても使用できない場合があります。

操作と可能な動作

iPodとの連動動作

iPod再生検出機能

iPod本体で再生を始めると、次の連動動作を行います。

- アンプやAVセンターがスタンバイ状態のとき、電源が自動的に入り、入力も自動的に切り換わります。
- アンプやAVセンターが他の入力を選んでいるとき、DS-A1XPを接続した入力に自動的に切り換わります。

iPodのアラーム機能に連動

- iPodのアラーム機能で再生が始まると、アンプやAVセンターも電源が自動的に入り、入力もDS-A1XPを接続した入力に切り換わります。

ご注意

- iPodをビデオ再生する場合は、連動しません。
- iPod本体で再生する場合やiPodのアラーム機能により再生を開始した場合、スピーカーから音が出るまで最大で5秒程度、出だしが欠けます。これが気になる場合は、アンプやAVセンターのリモコンで再生を始める、アンプやAVセンター本体のタイマープレイ機能を利用することなどをおすすめします。
- 他のiPod関連商品と接続してご使用の場合は、iPod再生検出機能が働かない場合があります。

主な仕様

電源：DC IN5V（専用ACアダプター）
消費電力：0.5W
質量：220g
外形寸法（幅×高さ×奥行）：112×60×112mm
端子：アナログ音声出力1、RI端子1

※仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。
※本製品の故障、誤動作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご注意

本機を直射日光の当たる場所や蛍光灯、殺菌灯の下で使用した場合、紫外線等の影響を受けて変色することがあります。

困ったときは

音が出ない

- iPodが再生していることをご確認ください。
- DS-A1XPのiPodコネクタ部にiPod本体が正しく接続されているか確かめてください。
- DS-A1XPを接続しているアンプやAVセンターの電源がオンになっているか、DS-A1XPを接続した端子の入力が選択されているか、音量が小さくなっていないか、確かめてください。
- コードやケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- アンプやAVセンターの正しい入力(IN)端子に接続しているかご確認ください。アンプやAVセンターの出力(OUT)端子には接続しないでください。
- ACアダプターがDS-A1XP本体やコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度iPodをリセットしてみてください。

オンキヨー製品に付属のリモコンで操作ができない

- 第3世代iPodには対応していません。
- DS-A1XPのiPodコネクタ部にiPod本体がしっかり接続されているか確かめてください。iPodをケースなどに入れている場合は、完全に接続できないことがありますので、必ずケースをはずして接続してください。
- iPodにAppleロゴが表示されている間は操作できません。
- リモコンにリモコンモード切換ボタンがあるときは、正しいモードを選んでください。
- DS-A1XP底面のRI MODE切換スイッチが正しく設定されているか確認してください。
- リモコンはアンプやAVセンターに向けて操作してください。
- RIケーブルだけでなく、オーディオ用ピンコードも接続してください。
- TAPE/CD-Rが入力セレクターで共有している一部の製品では、リモコン操作をする前に、iPod本体の►/IIボタンで再生させてセレクターを認識させる必要のある場合があります。
- 一度iPodをリセットしてみてください。

FM/AMを聞いているときノイズが気になる

- FM/AMアンテナをACアダプターのコードやDS-A1XP、iPod本体から離してみてください。また、ACアダプターのコードを他のコードやケーブル類と一緒に束ねないでください。

アンプやAVセンターの入力が勝手に切り換わる

- アンプやAVセンターに接続している他の機器をご使用の場合は、iPodの再生を一時停止しておいてください。iPod再生検出機能により、再生曲が切り換わったときなどに、アンプやAVセンターの入力が切り換わってしまいます。

修理について

■ 保証書

保証書は、本取扱説明書裏表紙に付属しています。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ACアダプターを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 DS-A1XP
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO® 音響映像機器保証書 持込修理

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターに修理をご依頼ください。

品 番		DS-A1XP	お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前	様	保証期間(お買い上げ日より)	本体 1 年
	ご住所 〒		取扱販売店名・住所・電話番号	
	電話番号 ( )			

●お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

オンキヨー株式会社 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2番1号

お問い合わせ先 オンキヨーコールセンター 050(3161)9555

キリトリ線

〈無料修理規定〉

本保証書は保証期間中、商品のハードウェアを保証するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターにて無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターにご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーコールセンターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3) お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）、水掛かり等による故障および損傷
   5) 一般家庭用以外（例えば、業務用の使用、車両·船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   6) 消耗品の交換
   7) 本書の提示がない場合
   8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   9) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって本書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは本取扱説明書9ページをご覧ください。